
学 校 教 育

1	重点目 標	P11
2	現 況	
(1)	学級数及び児童生徒・教職員数	P11
(2)	学 校 概 況	
①	とうべつ学園	P12
②	西当別小学校	P14
③	西当別中学校	P16
3	特色ある取り組み	P18
4	学 校 給 食	P20
5	保護者支援制度	P21

➤ 1 重点目標

小中一貫教育6年目、新たなステージへ

～併設型、一体型それぞれの小中一貫教育推進～

※詳細は、P4「当別町教育推進計画」参照

➤ 2 現況

(1) 学級数及び児童生徒・教職員数

令和4年5月1日現在


区分 学校名	学級数		児童生徒数（人）									教職員数（人）				
	普通	特別支援	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計	校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員	栄養教諭
1 西当別小学校	9	3	42	38	24	27	45	35	5	216	1	1	14	1	1	
2 西当別中学校	6	2	48	52	40				3	143	1	1	14	1	2	
3 とうべつ学園 (前期課程)	12	4	38	37	41	47	40	43	12	258		1	22.5	1	1	1
	6	2	54	60	49				6	169	1	1	13	1	1	
合計	32	11							26	786	3	4	63.5	4	5	1

※加配事業による教職員の配置（上記教職員数の内数）

加配事業名	西当別小学校	西当別中学校	とうべつ学園 (前期課程)	とうべつ学園 (後期課程)	合計
指導方法工夫改善		1		1	2
通級指導			3		3
免許外教科担任解消		1			1
主幹教諭			0.5		0.5
専科指導(体育)		1			1
専科指導(理科)			1		1
少人数学級実践研究事業			1		1
事務職員		1			1
合計	0	4	5.5	1	10.5

(2) 学校概況

とうべつ学園 (義務教育学校)

校章・所在地	 <p>【校章の意味】 中心の花は「亜麻の花」を表現。とうべつ学園の「と」を「T」にも見えるようにデザインし、当別の「当」の字で丸く囲むよう配置。「知」「徳」「体」「絆」「夢」を星に込め、学問の象徴でもあるペンで表現。</p> <p>〒061-0205 北海道石狩郡当別町下川町 125 番地 電話：0133-23-2102 FAX：0133-23-3760</p>
校歌	<p>四 雲雀東風吹かるるかすみ草 鼻飛び立つ影白く 希望を歌いて身を健やかに 未来を拓きて愛せよ故郷</p> <p>三 歴史に刻まるる開拓の 心受け継ぎ身を立てり 川辺を伝いて道賑やかに 一つに集いて学べよ我ら</p> <p>二 黄金に覆わるる石狩野 紫雲にけふる阿蘇の山 紅葉と交わりて色鮮やかに 自然を仰ぎて忘るな故郷</p> <p>一 曙光に照らさるる当別に 真空色付く亜麻の花 白樺戦ぎて風涼やかに 平野を臨みて深めよ心</p> <p>作詞 西下 航平 作曲 高木 慶太</p>
沿革の概要	<p>【母体】当別小学校及び当別中学校の統合</p> <hr/> <p>平成30年 基本構想策定 令和元年 開校準備委員会・教育課程編成委員会設置 2年 校名決定 実施設計策定 校舎建設工事（～令和4年2月） 校章制定 3年 校歌制定 4年 とうべつ学園開校</p>
教育目標	<p>夢と志を持ち 希望に満ちた未来を拓く子どもの育成</p> <p>◇ 高い志と確かな学力をはぐくむ (知) ◇ 思いやりの心と豊かな人間性をはぐくむ (徳) ◇ たくましい身体と心をはぐくむ (体)</p>
経営の重点	<ol style="list-style-type: none">1 信頼と調和のある学校づくりの推進2 児童生徒の自己実現を図る教育の推進3 基礎・基本の確実な習得と自ら考え、判断し、表現する力を育む教育の推進4 豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進5 共生を基盤とした豊かな人間性を育む教育の推進6 時代を見通し、新たな可能性を育む教育の推進7 家庭・地域と連携し、地域と共に児童生徒を育む教育の推進
研究主題	<p>《 研 究 主 題 》</p> <p>「主体的に深く考える児童生徒の育成」～ 義務教育9年間を見通した授業の工夫 ～</p>

特色ある教育活動	<p>1 系統性・連続性を踏まえた生活・学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育的ニーズに応じたきめ細かな指導の充実を図る。 ・校務分掌に支援教育部を新設し、子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図る。 <p>2 日常的な異学年交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な縦割り班活動、地域や異校種との交流を通じて、豊かな人間性や社会性を培う。 <p>3 5・6年生における一部教科担任制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な教科指導の充実による学力の向上を促す。 ・多くの指導者のかかわりによる、きめ細かい指導と児童生徒の多面的な理解の促進を図る。 <p>4 5年生からの児童生徒会活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生から児童生徒会活動に参加し、協力して課題を解決し、自分たちの手でよりよい学校をつくろうとする自主的・実践的な態度を育てる。 <p>5 5年生からの部活動の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生から部活動に参加可能とし、スポーツや文化芸術等に親しもうとする態度を養う。 ・後期課程での本格的な部活動開始に向けた基本的技能や基礎的体力の向上を図る。 <p>6 英語教育の全学年実施</p> <p>7 独自教科「とうべつ未来学」の全学年実施</p>																																																																	
学級編制	<p style="text-align: right;">令和4年5月1日現在</p> <p>(前期課程)</p> <table border="1" data-bbox="256 1160 1348 1341"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>12 <4></td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>16 (1)</td> <td>22 (1)</td> <td>16 (2)</td> <td>26 (2)</td> <td>16 (1)</td> <td>22 (2)</td> <td>120 (9)</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>22 (0)</td> <td>15 (1)</td> <td>25 (1)</td> <td>21 (0)</td> <td>24 (1)</td> <td>21 (0)</td> <td>126 (3)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>38 (1)</td> <td>37 (2)</td> <td>41 (3)</td> <td>47 (2)</td> <td>40 (2)</td> <td>43 (2)</td> <td>246 (12)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(後期課程)</p> <table border="1" data-bbox="256 1417 912 1601"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>7年</th> <th>8年</th> <th>9年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6 <2></td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>24 (3)</td> <td>30 (1)</td> <td>26 (2)</td> <td>80 (6)</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>30 (0)</td> <td>30 (0)</td> <td>23 (0)</td> <td>83 (0)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>54 (3)</td> <td>60 (1)</td> <td>49 (2)</td> <td>163 (6)</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>基礎期 (1～4年生) 「基礎基本の確実な習得」</p> <p>充実期 (5～7年生) 「目標の設定と自ら学ぶ態度の育成」</p> <p>発展期 (8・9年生) 「自分の人生をデザインする力の育成 ～夢の実現へ～」</p> </div> <p>※ ()～特別支援学級の児童・生徒数で外数とする。 < >～特別支援学級数で外数とする。</p>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	学級数	2	2	2	2	2	2	12 <4>	男子	16 (1)	22 (1)	16 (2)	26 (2)	16 (1)	22 (2)	120 (9)	女子	22 (0)	15 (1)	25 (1)	21 (0)	24 (1)	21 (0)	126 (3)	合計	38 (1)	37 (2)	41 (3)	47 (2)	40 (2)	43 (2)	246 (12)	学年	7年	8年	9年	合計	学級数	2	2	2	6 <2>	男子	24 (3)	30 (1)	26 (2)	80 (6)	女子	30 (0)	30 (0)	23 (0)	83 (0)	合計	54 (3)	60 (1)	49 (2)	163 (6)
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計																																																											
学級数	2	2	2	2	2	2	12 <4>																																																											
男子	16 (1)	22 (1)	16 (2)	26 (2)	16 (1)	22 (2)	120 (9)																																																											
女子	22 (0)	15 (1)	25 (1)	21 (0)	24 (1)	21 (0)	126 (3)																																																											
合計	38 (1)	37 (2)	41 (3)	47 (2)	40 (2)	43 (2)	246 (12)																																																											
学年	7年	8年	9年	合計																																																														
学級数	2	2	2	6 <2>																																																														
男子	24 (3)	30 (1)	26 (2)	80 (6)																																																														
女子	30 (0)	30 (0)	23 (0)	83 (0)																																																														
合計	54 (3)	60 (1)	49 (2)	163 (6)																																																														
教職員	<p style="text-align: right;">令和4年5月1日現在</p> <p>校長 中村 伸次 教頭 (前期課程) 森 國 聡 (後期課程) 板 谷 文美子</p> <p>教職員数 教諭36.5名(短時間1名) 養護教諭2名 栄養教諭1名 事務職員2名 非常勤講師2名 学力向上推進講師2名 特別支援教育支援員4名 特別支援学級介助員1名 事務嘱託員2名 学校管理人1名 学校看護師1名 教育業務支援員2名 学習指導員2名</p>																																																																	

西 当 別 小 学 校 (中学校併設型小学校)

校章・所在地



【校章の意味】

雪のように清らかに、鏡のように曇りなき心身の発達成長への願いを表す。

〒061-3776

北海道石狩郡当別町太美町 1481 番地

電話：0133-26-2170 FAX：0133-26-2813

校歌

<p>三 夕雲遠く しずまりて 阿蘇岩山に あかねさす われらはのぞみ もやしあい 育つよ育つ すこやかに 西当別の小学校</p>	<p>二 緑の原を つらぬきて 石狩川の 水清し われらはともに 手を結び 進むよ進む ひとすじに 西当別の小学校</p>	<p>一 青き手稲の かがやけば 豊かなる野に 風かおる われらはあした 集い来て 学ぶよ学ぶ さわやかに 西当別の小学校</p>
		<p>作詞 坂本 作曲 津田 甫亮</p>

沿革の概要

昭和26年	獅子内小学校・太美小学校が合併して西当別小学校設立 新校舎落成・移転 校章制定	平成18年	文部科学省指定の「小中連携事業」開始(2か年)
27年	西当別小学校校歌制定	19年	国際理解教育開始(ALTとの学習) JICA 研修員学校訪問(アフリカ諸国より)
32年	校舎増築、屋内体育館完成	22年	当別町青少年善行賞受賞 (リングブル・エコキャップ収集)
36年	開校10周年記念式挙行	23年	当別町140年記念パレード見学、 記念式典参加(5年生)
46年	開校20周年記念式挙行	24年	大崎市へ震災復興激励の横断幕の送付
48年	増築校舎完成(理科室・準備室、視聴覚室、 放送室、保健室)	26年	JR 電化祝賀式典参加
50年	北海道小中学校放送教育研究大会開催	27年	西当別地区プレイハウスが西当別 小学校内へ移転
56年	開校30周年記念式・祝賀会	28年	電子黒板・書画カメラ設置 一貫教育推進講師配置 (西当別中学校と兼務)
57年	新校舎完成(普通教室4・音楽室・理科室)	29年	JICA 研修員学校訪問(アフリカ諸国より) レクサント市教育委員会視察団訪問
58年	新体育館落成式・祝賀会	30年	小中一貫教育開始 旧校舎屋根改修工事 西当別コミュニティスクール開始
62年	開校記念日指定・祝賀会	令和元年	全国いじめ問題子どもサミット参加 授業改善推進チーム活用事業開始 体育館屋根改修工事
平成元年	グラウンド改修工事	2年	当教研学校課題研究発表会開催 体育館照明、トイレ、玄関改修工事
3年	高岡小学校を本校へ統合	3年	木質バイオマスボイラー設置工事 校内LAN設備改修、児童一人1台端末配置 石狩管内教育実践奨励表彰受賞
6年	増築校舎落成式・祝賀会		開校70周年記念品作成
7年	プレハブ校舎4教室完成		
8年	増築校舎完成式 (普通教室8・音楽室・図工室) 学校給食開始		
9年	「たんぼぼ学級」設置		
13年	新学校教育目標制定 開校50周年記念式・祝賀会		
14年	視聴覚室改修		
15年	児童図書管理コンピューター化		
16年	ハマナス50本植樹(朝日新聞社より寄贈)		

教育目標

- ◇ 心ゆさぶる感性 <心> ・のびのび語り合う子
 - ◇ 学び求める知性 <学び> ・ぐんぐん学び合う子
 - ◇ 生き方を磨く個性 <生き方> ・もりもりきたえ合う子
- [平成13年3月改定]

<p>経営の重点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆小中一貫教育の推進 ◆確かな学びづくり 基礎・基本的事項の確実な習得とその活用による学力の向上 ◆豊かな心づくり 豊かな人間性とたくましい心の育成 ◆健やかな体づくり 体力の向上と健康安全教育の推進 ◆一人ひとりを大切にしたい特別支援教育の充実 																																								
<p>研究主題</p>	<p>《 重点指標 》 「チーム西当小の協働による、主体的に学ぶたくましい児童の育成」 《 研究主題 》 「自他を認め、考えを深めることができる子どもの育成【国語科】」</p>																																								
<p>特色ある教育活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎・基本を大切に確かな学力を身に付ける学習指導 <ul style="list-style-type: none"> ・全校一斉に毎朝「朝読書」「ドリルタイム」に取り組む ・学力向上推進講師の活用（理科、英語） ・小中連携の専科講師の活用（体育） ・ICT機器（クロームブック等）を活用した授業改善の推進 2 地域の人材を活用した学習支援活動（ときめきバンク・学校支援地域本部事業ボランティア） <ul style="list-style-type: none"> ・様々な教科や特別活動、総合的な学習の時間などに「ときめきバンク」（人材バンク）に登録している人材の活用 3 NPOと取り組む環境教育 <ul style="list-style-type: none"> ・NPOの協力を得て、環境教育に積極的に取り組む（5年生「道民の森」での学習など） 4 活発に行われる読書活動 <ul style="list-style-type: none"> ・全校一斉の「朝読書」、11月の読書月間、地域ボランティアによる本の読み聞かせなど、読書活動を通して豊かな心を養い、国語力向上を目指した取り組み 5 生き生きと展開する児童会活動 <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心を育て、児童相互のふれあいを大切にした「ふれあい集会」 ・明るい挨拶が積極的にできるよう「あいさつ運動」を児童会が主体的に計画運営する ・「西小タイム」、西当別中と連携した環境活動「クリーン作戦」 6 基本的な生活習慣や子どもの生きる力を育てる幼保小中連携事業の充実・発展 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所園児の学校体験会、1年生との交流活動 ・6年生の中学校登校、授業体験、部活動体験 ・小中合同クリーン作戦、小中合同いじめ撲滅集会など合同行事の開催 7 教科担任制の実施 8 英語教育の全学年実施 9 独自教科「とうべつ未来学」の全学年実施 																																								
<p>学級編制</p>	<p style="text-align: right;">令和4年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>12 <3></td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>27 (1)</td> <td>21 (0)</td> <td>9 (2)</td> <td>13 (1)</td> <td>23 (0)</td> <td>15 (0)</td> <td>112 (4)</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>15 (0)</td> <td>17 (0)</td> <td>15 (0)</td> <td>14 (0)</td> <td>22 (0)</td> <td>20 (1)</td> <td>104 (1)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>42 (1)</td> <td>38 (0)</td> <td>24 (2)</td> <td>27 (1)</td> <td>45 (0)</td> <td>35 (1)</td> <td>216 (5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）～特別支援学級の児童・生徒数で外数とする。 < >～特別支援学級数で外数とする。</p>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	学級数	2	2	1	1	2	1	12 <3>	男子	27 (1)	21 (0)	9 (2)	13 (1)	23 (0)	15 (0)	112 (4)	女子	15 (0)	17 (0)	15 (0)	14 (0)	22 (0)	20 (1)	104 (1)	合計	42 (1)	38 (0)	24 (2)	27 (1)	45 (0)	35 (1)	216 (5)
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計																																		
学級数	2	2	1	1	2	1	12 <3>																																		
男子	27 (1)	21 (0)	9 (2)	13 (1)	23 (0)	15 (0)	112 (4)																																		
女子	15 (0)	17 (0)	15 (0)	14 (0)	22 (0)	20 (1)	104 (1)																																		
合計	42 (1)	38 (0)	24 (2)	27 (1)	45 (0)	35 (1)	216 (5)																																		
<p>教職員</p>	<p style="text-align: right;">令和4年5月1日現在</p> <p>校長 八木橋 桂 二 教頭 土岐 景 輔</p> <p>教職員数 教諭13名 助教諭1名 養護教諭1名 事務職員1名 学力向上推進講師1名 特別支援学級介助員1名 特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名 学校管理人1名 教育業務支援員1名 学習指導員1名</p>																																								

西 当 別 中 学 校

(小学校併設型中学校)

校章・所在地



【校章の意味】

六角形の雪の結晶に、西当の文字を図案化し、中の字の周りに配する。

〒061-3772

北海道石狩郡当別町獅子内 5134 番地 1

電話：0133-26-2252 FAX：0133-26-2412

校歌

作詞・作曲 倉島 繁

一 石狩の 潮騒遠く
夕映えの 広ごるほとり
厳かしく 立てる学び舎
西当別 われらのふるさと

二 緑なす 森の梢に
先人の 功徳びつ
集い合う 若人われら
西当別 われらのふるさと

三 涼風は 垂穂にそよぎ
行く水は 広野うるほす
豊けしや みのりの里わ
西当別 われらのふるさと

四 大いなる 恵の朝
われら今 光を受けて
踏み分けん 真の長道
西当別 われらのふるさと

沿革の概要

昭和 22年	獅子内小に併置開校 当別町制施行町立に	平成 16年	全道ソフトボール大会 3位
23年	校章制定、独立校舎落成	17年	新教育目標設定
25年	高岡分校設置	18年	全道ソフトボール大会 3位
26年	旧校舎落成	19年	18・19年度国立教育政策研究所委嘱 事業 小中連携教育実践研究指定校
31年	体育館落成	20年	道「青少年の主張」大会優秀賞(個人)
32年	開校10周年式典	21年	石狩管内教育実践奨励賞受賞
38年	高岡分校独立	22年	モンゴル国教育視察団訪問
42年	開校20周年式典	23年	ESD 日米教員交流団来校
43年	高岡中学校統合	24年	体育館耐震改修工事
46年	町プール校地に設置	25年	当別町学校教育研究推進協議会学校 研究発表会
49年	スクールバス運行	26年	体育館大規模改修工事
51年	石狩管内教育実践奨励賞受賞	27年	旧校舎給水管改修工事
52年	開校30周年式典	28年	校務用生徒用パソコン更新
54年	体育館落成	29年	電子黒板・書画カメラ設置
56年	新校舎落成記念式典	30年	小中一貫教育開始
57年	校舎落成記念植樹 グラウンド完成	31年	開校70周年
平成 4年	学校週5日制開始	令和 元年	全国いじめ問題子どもサミット参加
8年	学校給食完全実施、事務補配置	2年	部活動後援会設立
9年	全国スキー大会回転優勝(個人)		当別町150年に向けた取り組み開始 (生徒会・美術部)
11年	開校50周年式典・スウェーデン訪問		新型コロナウイルス感染症拡大防止の ため臨時休校(4/11～5/31)
12年	全道剣道大会 3位(個人)		木質チップボイラー工事
13年	増築校舎完成		校内 LAN 設備改修、生徒一人1台端末
14年	町P連研究大会(本校PTA主管)		
15年	特殊学級設置・10学級編制		
	全道新体操準優勝(個人)		
	全道新体操優勝、準優勝(個人)		

教育目標

ここ西当別の大地で、

- ◇ 高い知性 (知)
- ◇ 強い意志 (徳)
- ◇ 健やかな体 (体)

を求め、自らの進路を切り拓こう

[平成17年2月制定]

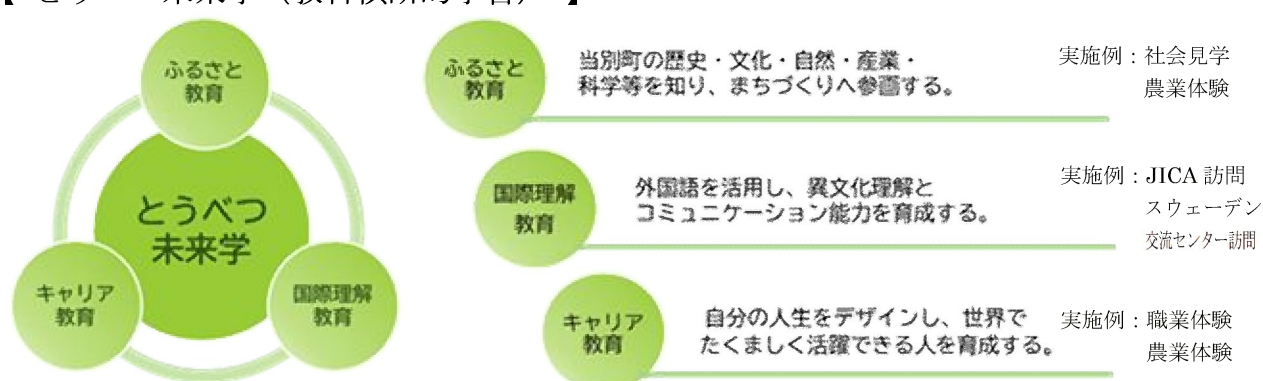
<p>経営の方針と重点</p>	<p><経営の方針> 【令和4年度 重点教育目標】 『 Be Strong ～たくましく生きよ～ 』 <教育推進の重点> 1. 生徒の生きる力と自己実現を図る教育の推進 2. 基礎・基本の確実な習得と、自ら考え、判断し、表現する力を育む教育の推進 3. 豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進 4. 共生を基盤とした豊かな人間性を育む教育の推進 5. 時代の要請や今日的な課題をふまえ、新たな可能性を創造する教育の推進 6. 家庭・地域・CS と連携し、地域と共に歩む教育の推進 7. 学校事務の管理・運営と教育環境の整備・充実 8. 学びをつなぐ信頼される学校づくりの推進</p>																									
<p>研究主題</p>	<p>《 研究 主 題 》 「自らの意思で判断・行動し、自律できる生徒の育成」 ～ 指導と評価の一体化を目指した、主体的・対話的で深い学びの実践を通して ～</p>																									
<p>特色ある教育活動</p>	<p>①小中一貫教育 学校行事・部活動・児童生徒会の交流事業・小中交流会・新入生説明会 小学校体育専科授業・合同研修・独自教科「とうべつ未来学」全学年実施など</p> <p>②朝読書 全学年年間を通した朝読書の実施</p> <p>③生徒会活動 いじめ撲滅の取り組み ・小中合同いじめ撲滅集会・撲滅宣言 ・一貫教育・CS連携事業 ・クリーン作戦 ・挨拶運動</p>																									
<p>学級編制</p>	<p style="text-align: right;">令和4年5月1日現在</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6 <2></td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>24(0)</td> <td>24(0)</td> <td>24(2)</td> <td>74 (2)</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>24(1)</td> <td>28(0)</td> <td>16(0)</td> <td>69 (1)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>48(1)</td> <td>52(0)</td> <td>40(2)</td> <td>143 (3)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () ～特別支援学級の児童・生徒数で外数とする。 < > ～特別支援学級数で外数とする。</p>	学年	1年	2年	3年	合計	学級数	2	2	2	6 <2>	男子	24(0)	24(0)	24(2)	74 (2)	女子	24(1)	28(0)	16(0)	69 (1)	合計	48(1)	52(0)	40(2)	143 (3)
学年	1年	2年	3年	合計																						
学級数	2	2	2	6 <2>																						
男子	24(0)	24(0)	24(2)	74 (2)																						
女子	24(1)	28(0)	16(0)	69 (1)																						
合計	48(1)	52(0)	40(2)	143 (3)																						
<p>教職員</p>	<p style="text-align: right;">令和4年5月1日現在</p> <p>校長 大 浦 浩 教頭 小 関 展 彰</p> <p>教職員数 教諭14名 養護教諭1名 事務職員2名 非常勤講師1名 学力向上推進講師1名 特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名 学校管理人1名 教育業務支援員1名</p>																									

➤ 3 特色ある取り組み

【 授業改善 】

取 組	実 施 状 況
小学校高学年の一部教科担任制実施	①中学校教諭による小学校での授業（乗り入れ授業） 【英語・体育・音楽】 ②担任の交換授業【国語・算数・理科・社会】 ③加配等の活用【理科・英語・体育】
外国語教育の充実	平成26年度から小学校1～4年生にも外国語活動という形で英語に触れる時間を作り、全学年で英語教育に取り組んでいる。
1人1台端末の活用 (令和2年度中に完了)	新たな学習ツールとして、1人に1台の端末を配付し、「主体的、対話的で深い学び」へと繋げる授業展開や振り返り、意見交換等に積極的な活用をしている。また、出席停止や臨時休校、不登校には授業のリモート配信にも取り組むなど、「個別最適な学び」「協働的な学び」の実践を重ねている。
教職員研修	町教委主催の研修を夏と冬の長期休業中に開催 【令和4年度 開催テーマ】 特別支援・オンライン授業、授業改善 令和4年7月28日(木)～7月29日(金)、12月27日(火)

【 とうべつ未来学（教科横断的学習） 】



「ふるさと教育」「国際理解教育」「キャリア教育」の3つの柱からなる教科等横断的な学習。生活科、総合的な学習、外国語、社会などの時間で実施。

ふるさと当別を知り、当別の未来について考え、国際感覚を身に着け、自分の人生をデザインする力や様々な方法で発信する力を育てることを目指す。

【 学びのハンドブック 】



教科ごとの目標、身に着けたい力、ICTを活用した家庭学習、年間の学習課程についてまとめたハンドブックを全保護者へ配布。(R4～)

本書を通じて、保護者が学校での学習内容や計画を知ることができ、家庭学習をサポートする際の手引書としての活用可能。

【 小中一貫教育を支える人材 (町会計年度任用職員) 】

職名	人数	業務内容
学校教育指導主事	1名	学校経営に関する指導助言、児童生徒及び保護者の相談 等
特別支援教育支援員	8名	普通学級に在籍する困り感がある児童生徒への支援 等
特別支援学級介助員	2名	特別支援学級児童の身辺介助、安全確保 等
特別支援学級看護師	1名	医療的ケアが必要な児童への支援
学力向上推進講師	4名	児童生徒への教科指導及び補助 (外国語2名、算数・数学2名)
英会話指導助手 (ALT)	2名	外国語授業の補助
適応指導教室指導員	2名	適応指導教室における不登校児童生徒の学習指導、学校復帰支援 等

【 義務教育学校 とうべつ学園の特色 】



屋内運動場

◎教育の特色

- ・ 3ブロック制 (基礎期－充実期－発展期)
- ・ 5年生から50分授業実施
- ・ 後期課程教諭による乗り入れ授業実施
- ・ 5年生からの部活動・児童生徒会活動参加
- ・ 特別支援教育充実を目指し、校務分掌に「教育支援部」を設置
- ・ 日常的な異学年交流・活動の実施
- ・ 一部行事を前期・後期課程で合同実施

➤ 4 学校給食

(1) 学校給食の役割

学校給食は、食育として栄養バランスのとれた食事の提供、正しい食習慣・食文化についての学び、児童生徒一人一人が「自分の健康を考え、食事を選ぶ能力」を身につけるなど大切な学びの場です。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ○ 栄養バランスのとれた豊かな学校給食 | ○ 望ましい食習慣を形成する学校給食 |
| ○ 人間関係を豊かにする学校給食 | ○ 自然の恵みや感謝の心を育てる学校給食 |

(2) 食育の推進（栄養教諭による授業・指導）

地場産食材を活用することにより、子供たちが地域を知り、地域の産業について理解を深め、地域に誇りを持てるような「食育」の展開を進めています。

(3) 給食費

区分	実施回数（回）	一食単価（円）	年額（円）	
小学校	1年	181	249	45,069
	2年	188・187		46,812・46,563
	3年	187・186	255	47,685・47,430
	4年	187		47,685
	5年	186・184	261	48,546・48,024
	6年	187・185		48,807・48,285
中学校	1年	190・188	317	60,230・59,596
	2年	187・183		59,279・58,011
	3年	178・176		56,426・55,792

(4) 学校給食センターの運営

- ① 学校給食センター運営委員会は、教育委員会の諮問機関として10名の委員で構成され、学校給食費や給食センターの運営に関わる事項について審議しています。
教職員4名、保護者3名、学識経験者3名 委員任期2年
- ② 調理・配送・配膳業務を北日本フードサービス（株）へ委託（業務従事者28名）

(5) 施設概要

区分	概要
名称	当別町学校給食センター
所在地	石狩郡当別町若葉2224番地
建設年度	平成7年5月着工
開設	平成8年1月（平成7年度3学期）
敷地面積	3,625.00㎡（1,096.56坪）
建物面積	1,098.12㎡（332.18坪）
構造	鉄筋・鉄骨コンクリート造 一部2階建
調理場区分	共同調理場
厨房方式	ドライシステム
調理能力	最大3,000食/日
廃水処理	回転円板方式
厨芥処理	有機廃棄物処理方式
建設事業費	830,386千円
実施状況	1日最大提供食数879食（令和4年4月現在）

➤ 5 保護者支援制度

(1) 就学援助

経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、その就学に必要な援助を行う。

内訳（令和4年度支給額）

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校	内 容
新入学児童生徒 入学準備金	入学前	54,060	60,000	入学予定者が入学に必要な通常必要とする学用品及び通学用品（H29～）
新入学児童生徒 学用品費等	1年	54,060	60,000	小学校又は中学校に入学する者が通常必要とする学用品及び通学用品 ※ 入学前に入学準備金を受給した場合は対象外
学用品費（学） 通学用品費（通） 校外活動費（校）	1年	（学）11,630	（学）22,730	各教科及び特別活動の学習に必要とされる学用品（実験、実習教材費を含む）、通学用靴、雨傘等の通学用品に係る経費並びに校外活動に参加するために必要な交通費及び見学科
	2年	（学）11,630 （通）2,270 （校）実費	（学）22,730	
	3年		（通）2,270	
	4年		（校）実費	
	5年			
	6年			
体育実技用具費	スキー	26,500	38,030	体育授業の参加に必要な体育実技用具（スキー用具） 小1・4年、中1年のみ
修学旅行費		実費	実費	小学校及び中学校で、それぞれ1回参加する修学旅行に直接必要な交通費、宿泊費、見学科料などの経費
生徒会費			実費	生徒会費として負担すべき経費（H29～）
P T A会費		実費	実費	P T A活動に要する費用として負担すべき経費（H29～）
卒業アルバム代等		11,000	8,800	通常制作する卒業アルバム及び卒業記念写真等の購入費（R3～） 小6年、中3年のみ
学校給食費		現物支給	現物支給	学校給食に要する食費の全額
医療費		実費	実費	感染症又は学校病にかかり、学校から治療の指示を受けたとき、その疾病のための医療に要する費用 学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白せん、疥せん及び膿痂疹、中耳炎、慢性鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫（虫卵保有を含む）をいう。

(2) 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、就学奨励費を支給する。

内訳（令和4年度上限額）

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校
新入学児童生徒 学用品・通学用品購入費	1年	25,555	28,990
学用品・通学用品購入費		5,820	11,370
体育実技用具費 小1~3年、4~6年、中1~3年の 各期間に1回	スキー	13,255	19,015
	柔道		3,825
	剣道		26,455
校外活動等参加費（宿泊を伴う）		1,845	3,105
校外活動等参加費（宿泊を伴わない）		800	1,155
通学費		実費又は実費の1/2	実費又は実費の1/2
修学旅行費		10,790	28,860
学校給食費		実費の1/2	実費の1/2

(3) 特別支援学級等通学援助費

小学校及び中学校の特別支援学級・通級指導教室に通学する児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、通学費の一部を支給する。